

新町の名称について

新町の名称について協議する。

平成 17 年 1 月 22 日提出

神崎町・大河内町合併協議会
会 長 足 立 理 秋

協 定 項 目	3	新町の名称について
新町にふさわしい名称を選ぶため、新町名称・庁舎等検討小委員会で選考された 5 作品の中から最終選考を行うこととする。 (参 考) □新町名称選考経過 1) 第 1 次選考 (22 作品) 日 時 平成 16 年 12 月 22 日 (水) 13 : 30 ~ 場 所 神崎町ケ - ブルテレビネットワ - ク局舎 内 容 小委員会委員による投票 2) 第 2 次選考 (5 作品) 日 時 平成 17 年 1 月 7 日 (金) 13 : 30 ~ 場 所 大河内町役場 3 階第 3 会議室 内 容 小委員会委員による投票 第 2 次選考結果 別紙のとおり 新町名称：神河町（かみかわちょう）に決定		

平成 17 年 1 月 22 日 確認 継続審議

新町名称第2次選考結果（名称理由一覧）

新町名称	ふりがな	応募数	理 由 ・ 意 義
神 河	かみかわ	17	神崎町、大河内町が未来く仲良くやっていくように願いを込めて
			神崎の神、大河内の河をとって将来に残したい。市川の上流、清流にふさわしい
			神崎の神、大河内の河をあわせ、現町名を一部残したいと思う
			2町の町名を平等に一文字ずつ使って
			何十年と呼び残した町名を一文字だけ残す意味で
			歴史等を感じられるかな、と思ったから
			2町の名前を残しておきたいから
美 里	みさと	6	緑と美しい川、自然に恵まれた山里。いつまでもこの田舎ならではの自然環境であることを願って
			2町とも美しい昔ながらの清流、山林に囲まれた古里である
			字のとおり美しいふるさとであり続けよう願いを込めて。ツキに恵まれ意外な幸運が舞い込む素敵な町
			名の通り美しい里を目指して
埴 岡	はにおか	11	歴史ある市町が誕生する中、平仮名では地域の歴史や個性が消され文化が生まれにくい。2町の資料による播磨風土記「埴岡の里」は歴史がある
			地名はその地域の歴史的個性をしめすもので、現住民だけでなく故郷を離れた人達にとっても過ぎし日を思う大きな存在であるといわれている。古来、2町にまつわり日本最古の地誌「播磨風土記」に記述のある由緒深い地名「播磨の里」に倣い「埴岡」とする。平成の大合併にあたり、この由緒深い地名を新町名称として土地固有の香気を感じ、地域住民の一体感を醸成して、後世に地域の歴史、文化を伝えていきたい。新町名「埴岡」の最初の音(字)「埴」の字義は「ねばつち」(粘土)で新町が今後「ねばっこく」「ハートがふれあう住民自治のまち」
秀 峰	しゅうほう	1	現在の神崎町、大河内町、そして市川町の大部分は播磨風土記の時代(和同年間)から埴岡の里と呼ばれていた。歴史、伝統文化を重んじ将来の発展を願って。教育的には夢がある
			千々峰、峰山、砥峰など、大変美しい山々に囲まれた町
わ か ば	わ か ば	7	『わかば』は今からどんどん伸びていくという意味もこもっている。今、NHKでも放映しているし、2町とも緑がいっぱいで新町名にぴったりだと思う
			2町合併により新しく生まれ変わる新町をイメージ、又、緑豊かなふる里としても良いと思う
			みどりいっぱい町と町。若葉のように元気いっぱい我が町になって欲しい
			若葉がたくさん町になって欲しいから
			2町の地形のハート形に。緑の新芽の新しい町にふさわしい
			神崎町、大河内町の新町と新しく発足する緑の町を主として、今後、大いに伸びて欲しい

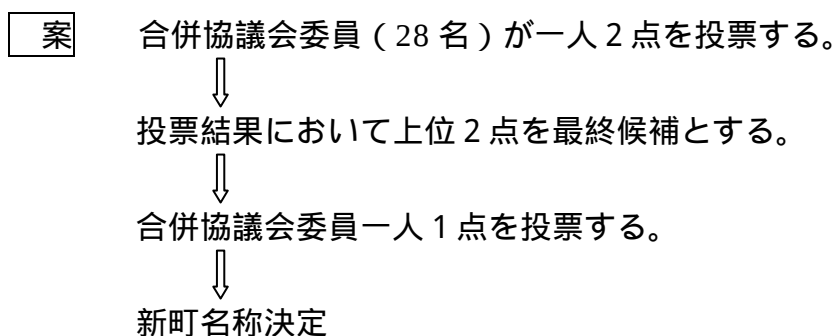
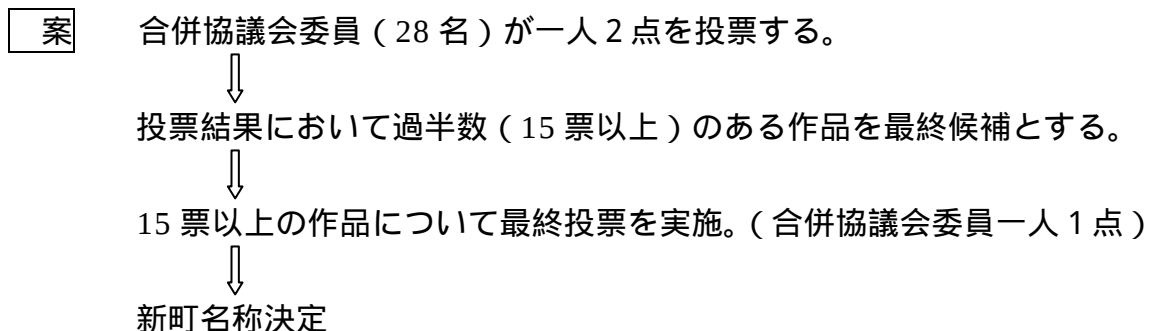
新町名称最終選考方法について（案）

1 表決方法について

「無記名投票」又は協議による方法。

無記名投票に決定

「無記名投票」の場合、次の方法が考えられる。



案に決定

2 名付け親賞の取扱いについて

全国的に見て新市（新町）名の応募を幅広くされた場合は、最終的に決定になった作品に対し、名付け親大賞・名付け親賞として、記念品等を贈られる合併協議会がほとんどである。

神崎町・大河内町合併協議会の新町名称・庁舎等検討小委員会においても名付け親賞に対する取扱いの議論が行われ、最終的には決定した作品に応募された方に対し感謝状と記念品を贈ることで合意をされている。